

究極の板金加工向けソフト

「瞬間」と言う世界へ

- 曲げデータの完全数値化
サンプルワークのリバースエンジニアリングによる曲げ特性の完全数値化が可能になりました。
- 材料、機械を問わず角度と長さが同時に加工可能と言う究極の技
CALは曲げ角度と寸法に必要なベンダーの二つのデータを、同時且つ瞬時に算出する業界初のソフトウェアです。従来よりある目標角度のみの予測値だけではありません、内Rと中立線を知っていから寸法も同時に算出されます。
- 金型と曲げ順検索エンジン
一瞬で全ての金型メーカーのカタログから最適な金型と曲げ順を検索し、瞬間に加工可否判断が可能です。
- 加工不可能を予知する検知機能
人工知能AI搭載の柔軟なマニュアル検索機能も業界初の離れ業です。
- 特殊金型の簡単な入力
自社所有の特型も簡単にに取り込み可能
- 断面形状の作図機能
勘に頼った現場での仕事、熟練工でも最後に確認しないと分からない分野を簡単な作図で補えます。
- 干渉チェック
ルーバーなど絞り加工や、カシメなど含む干渉チェックができます。
- 重要寸法のロック機能
各曲げから捨て曲げ部分を選択し誤差を振り分け、重要なフランジを確保する事が可能です。

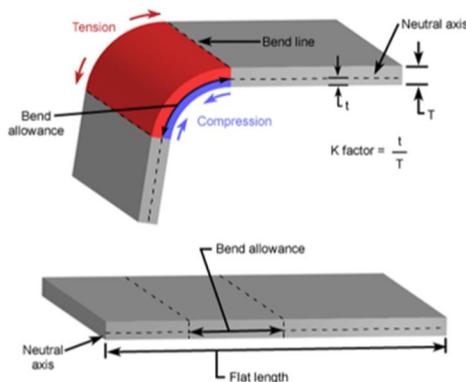
曲げテーブル

数値化された曲げデータの資産化へ

お客様の材料、金型、機械から曲げのテーブルを作ることが可能になりました

CALは任意に一曲げたサンプルワークの4辺を測定するだけで、その材料の中立線を見つけ出します。同時にK-ファクター、内R、伸び値を見つけ表示します。

鉄、ステンレス、アルミ、チタンからポリカーボネイト、更には航空機特殊アロイに至るまでの材料で役立っています。材料板厚は0.3mmのバネ材から25mmの鉄まで実証しています。



CAL プレイヤー

「便利」と言う世界へ

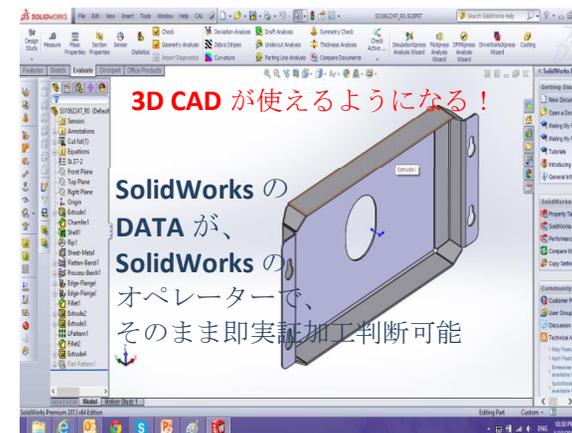
Windows搭載のタブレットもしくはパソコンがあれば、画面のないベンダーでも3D画像を見ながら作業が可能になりました。旧式のベンダーでも最新のベンダーに早代わりします。

3D ソリッドワークスが使えるようになります「簡単」と言う世界へ

ソリッドワークス 曲げ加工可否判断

取説不要の簡単な操作手順とは：

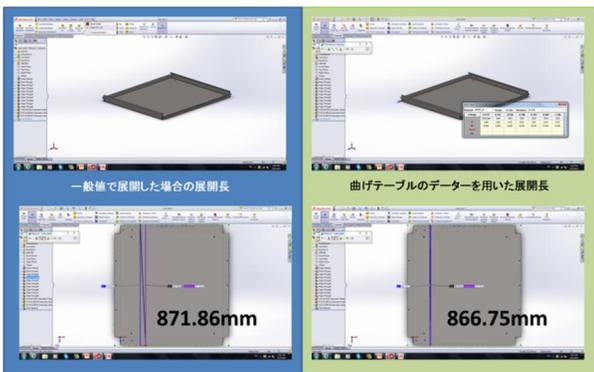
1. ソリッドワークスで3Dの板金モデルを作成する。
2. CALアドインを通して保存する。
3. CALからそのファイルを読む。
4. シミュレーションボタンを押すだけで瞬時に金型選出と曲げ順を自動で表示する。
5. 簡単な操作でシミュレーションを見ながら、随時曲げ順変更や、金型の追加等ができる。



ソリッドワークスとの連携 (Add-in)

曲げテーブルとリンクする事で、板金機械メーカーや、他のソフトハウス等が出している板金用 3D CAD/展開ソフトよりも正確な展開が可能。試し曲げなしでプラン加工ができる。

一般の数値と曲げテーブル使用時の違い



特殊なバーチャル加工実例 [写真を曲げる]

特記事項など記載して写真を撮り、CAL上でバーチャル加工し、難しい曲げ順や、加工ミスの軽減を可能としている (左上から反時計回り)



販売元

LBI (La Boschiny, Inc.)

(ラ・ボッシニー株式会社)

カリフォルニア USA

www.caleasytouch.com

info@caleasytouch.com

1-619-770-8711

開発元

オービット・テクノロジー

www.otc.net

カリフォルニア USA

日本国内でのお問い合わせは、



Zen of sheet-metal

究極の板金加工向けソフト

CAL

全ての真実は内 **R** と中立線にある

